

プロの技に触れ社会的役割を認識

福井宇部生コンクリートが見学会

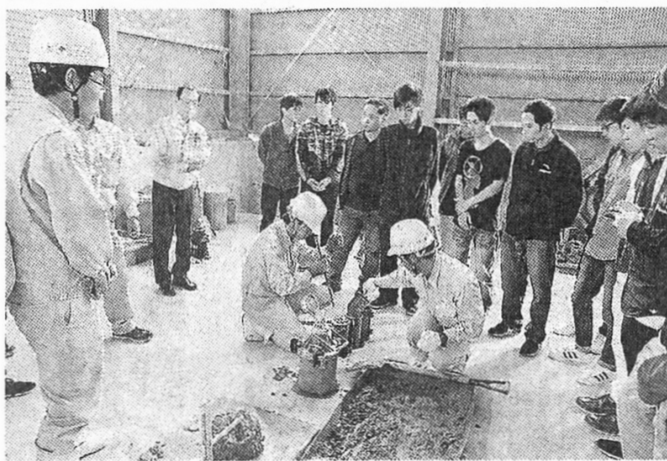
福井工大生が参加

福井宇部生コンクリート株式会社（南谷哲彦代表取締役社長）

は21日、

鯖江市有定町の同社南越

工場において、福井工業大学の学生を招き、工場見学会を開催した。



室内試験練りを見学し、仕事内容への理解を深める学生ら

なく本格化する北陸新幹線のコンクリート工事を前に、コンクリートが果たす社会的役割を認識、技術者の「プロの技」に触れ「仕事の魅力」を知ってもらったもの。

普段目にすることのない生コンクリート工場の仕組みや仕事内容の理解を深めることを目的とする。また、県内でも

同社の石川裕夏常務取

締役がコンクリートや工

場の概要を説明、南越工

場の吉川昌和工場長、黒

瀧祥文リーダーらの案内

で、2班に分かれてプラ

ントを見学。その後、室

内試験練り（各種、品質

管理試験）の実際の工程

について学び、生コンク

リート実製造の説明を受

け、違いを確認した。

参加した学生はセメン

トや水、骨材など多様な

材料の配合設計を適切に

図るプロの技や、生コン

クリートの特性が季節や

気象条件によって大きく

異なるため、材料の水分

量を密に確認すること

や、厳しい試験により品

質管理を適切に行なう必

要性などについて熱心に

学んでいた。